

工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

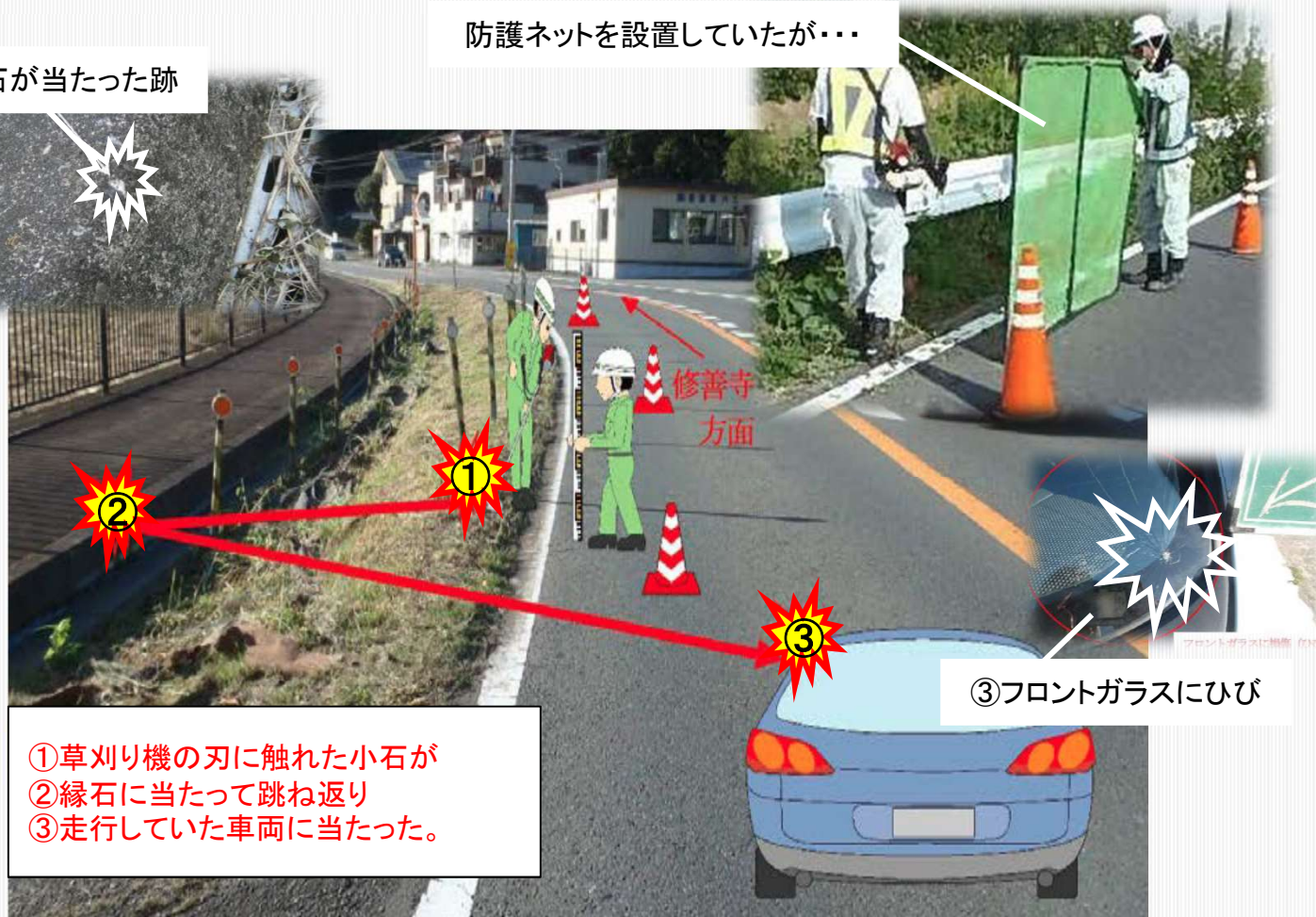
2020.6.3

22号

除草作業の飛石が縁石で跳ね返って車両の窓を直撃！【令和元年10月9日事故発生】

防護ネットを設置していたが...

②小石が当たった跡



③フロントガラスにひび

- ①草刈り機の刃に触れた小石が
- ②縁石に当たって跳ね返り
- ③走行していた車両に当たった。

●事故概要

・道路除草作業中、草刈り機で車道反対側に飛んだ石が縁石で跳ね返って通行車両にぶつかり、車両フロントガラスを破損。

●事故原因

・草刈り機から車道側に直接飛んでくる石に対しては防護ネットを設置していたものの車道反対側に飛び、縁石で跳ね返る石は想定外であり、防護ネット枠外から車両を直撃。

●再発防止策

- ・周辺に縁石等のような石が跳ね返るおそれのある施設がある場合には、コンクリート養生マット等の衝撃を吸収するもので覆い跳ね返りを防ぐ。
- ・作業員に回転切刃の性質、切刃の当て方、小石の跳ね方向等安全教育を徹底する。
- ・小石を飛ばしにくいNETIS(新技術情報提供システム)登録製品の草刈り機を購入して使用する。

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故分類	工事関係者(死亡)	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和2年 3月末現在 (前年)
	件数	1件(0)	3件(4)	0件(2)	24件(31)	28件(37)	

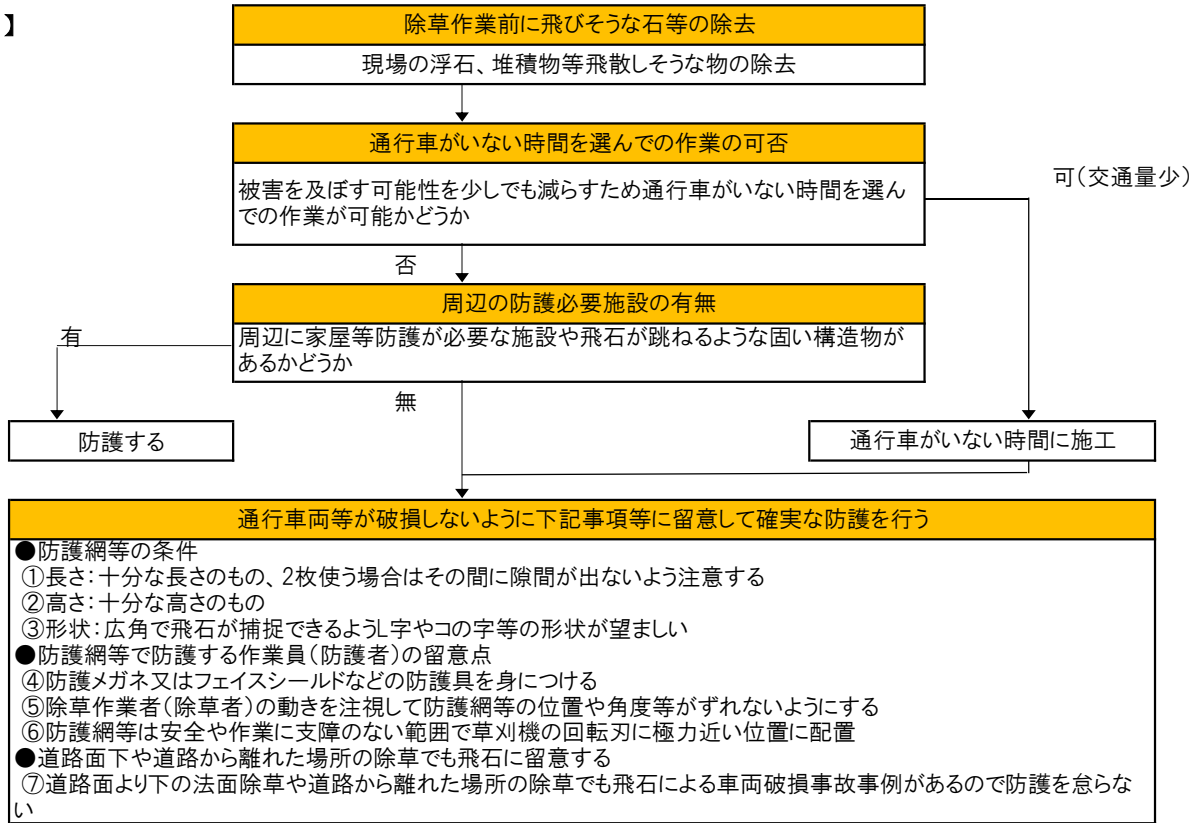
令和2年1月14日に「死亡事故」が発生しました！

静岡県交通基盤部建設支援局工事検査課 054-221-3652

沿線部除草業務での飛石による車両破損事故及び事故防止のための取組上の留意点

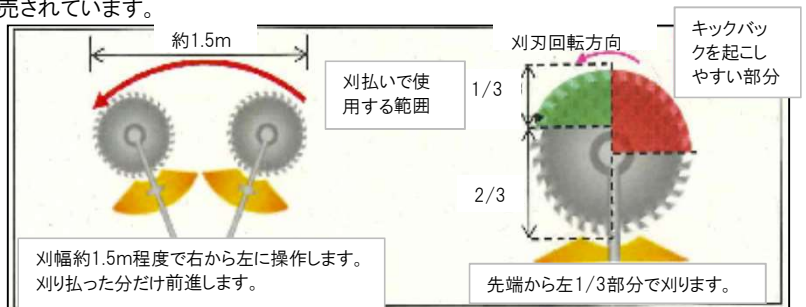
- 沿道部除草業務の飛石での車両破損事故はH29-4件、H30-3件、R1-2件発生
- 道路面より下の法面や交通量が少ない箇所の除草ということで防護網等設けず生じた破損事故3件を除けば、他は全て、防護網等で防護していたにも拘らず石が予想外の方向へ飛んだり、網の隙間から飛ぶ等して防護し切れなかったことが原因となっている。
- 以上を踏まえ、沿道部除草業務での飛石による車両破損事故防止のための取組上の留意点を下記のとおりまとめたので、参考にして事故防止に努めてください。

【準備】



【刈払機】

- 飛散防護カバーは、適切な位置についていますか。
適切な位置についていない場合、飛散物が使用者に当たる危険性が増加します。
- 刈刃を選択しましょう
石に対して、刃が高く、間隔が広い場合(4枚刃、8枚刃)は飛距離や飛散速度が大きくなり、逆に石に対して刃が低く、間隔が狭い場合(チップソー)では飛散しにくい傾向があります。ただし、チップソーでも刃の間に入るほどの小石では高速で飛散します。ナイロンコードカッターではより大きなものは飛石しづらくなります。
また、小石を飛ばしにくいNETIS登録製品も販売されています。



出展: 独立行政法人国民生活センター「刈払機(草刈機)の使い方に注意—指の切断や目に障害を負う事故も—」

【安全作業】

- 刈払機作業者安全衛生教育を受講する
- 刈刃は反時計回りに回転しています。刈刃の左全面で常に刈るようにしましょう。
- 右面ではキックバックを起こし、危険です。

【参考】

- 刈払機(草刈機)の使い方に注意—指の切断や目に障害を負う事故も—
独立行政法人国民生活センター(平成25年7月4日付報道発表資料)
- 刈払機(草刈機)の使用中的の事故にご注意ください!
消費者庁、独立行政法人国民生活センター(平成29年7月20日付報道発表資料)